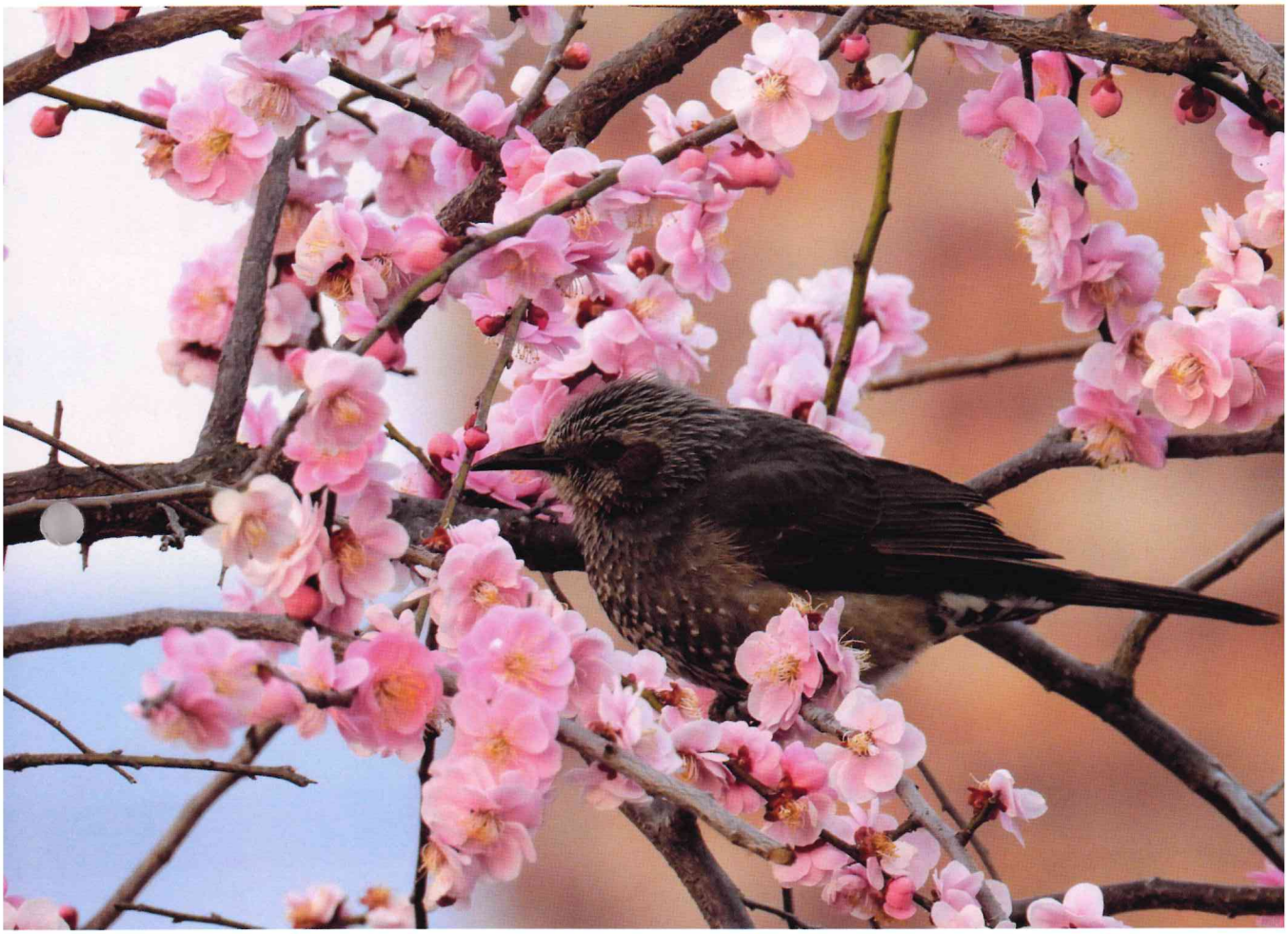
ISSN 0915-9924
令和８年３月10日発行（毎月１回10日発行）No912

埼玉県医師会誌

報告Ⅰ

「熊谷市医師会看護専門学校の運営の現状と埼玉県立高等看護学院の移転を巡る埼玉県との調整について」
「医師会立看護学校をもつ誇りと苦悩」
本庄児玉看護専門学校の存続に関する検証」



2026
March
Vol.912
3

目　　次

3月号　2026　NO. 912

表紙題字…金井　忠男／表紙写真…五十嵐　勇人／カット…五野上　智三

フォトサロン

秩父路に春を告げる長瀞火祭り（秩父市長瀞町）　埼玉医科大学医師会　片　山　茂　裕
陽光桜　深谷寄居医師会　定　森　真　理
丸墓山古墳から（行田市）　行田市医師会　河　本　英　敏
ドイツ、ミュンヘンの市庁舎　春日部市医師会　藤　川　万規子

報告Ⅰ

熊谷市医師会看護専門学校の運営の現状と埼玉県立高等看護学院の移転を巡る
埼玉県との調整について　熊谷市医師会長　小　林　敏　宏 … 1
医師会立看護学校をもつ誇りと苦悩　秩父郡市医師会長　井　上　　靖 … 6
本庄児玉看護専門学校の存続に関する検証　本庄市児玉郡医師会長　鈴　木　和　喜 … 10

勤務医コーナー

歴史ある３市にまたがる症例検討会と埼玉県OLSネットワーク
医療法人社団清幸会　行田中央総合病院　整形外科　凌　　晨　光 … 12
急性期から慢性期、予防医療まで ― 医療法人永仁会 入間ハート病院の地域医療への取り組み
医療法人永仁会　入間ハート病院　院長　久　田　哲　也 … 16

談話室

ドイツ旅行記～ドイツ人の息子ベンの成長と共に～　春日部市医師会　藤　川　万規子 … 22
表紙に仕掛けられた罠　深谷寄居医師会　小　暮　太　郎 … 26
石川啄木――天才の構造と極限の集中、その短歌革新の核心―
春日部市医師会　木　村　　理 … 30
クイズは楽し！ Ver.130　深谷寄居医師会　緒　方　伸　男 … 33

私の意見

こども食堂・未来応援基金　～寄付のあり方とふるさと納税を鑑みて～
春日部市医師会　藤　川　万規子 … 34

臨床メモ

腎不全透析症例における非ホジキンリンパ腫の化学療法
医療法人社団嬉泉会　春日部嬉泉病院（春日部医師会）内科　木　村　文　彦 … 38
高齢者消化器外科 2026 総論 ― 高齢者に対する消化器外科手術診療指針2023を踏まえて ―
医療法人社団全仁会　東都春日部病院　（春日部市医師会）　病院長　木　村　　理 … 43

お知らせ

患者さんのための３つの宣言　埼玉県、埼玉県医師会 … 58
日本医師会員向け キャッシュレスサービス　日本医師会 ORCA 管理機構 … 60
日医ペイハラ・ネット相談窓口を開設しました！　日本医師会情報システム課 … 62
第43回 日本臨床内科医会総合学術集会　一般社団法人日本臨床内科医会／埼玉県内科医会 … 63

日医講座開催案内　学　術　担　当 … 64

会議記録

第９回理事会、第34回常任理事会、第35回常任理事会（持廻り）、
第36回常任理事会、第37回常任理事会、第９回郡市医師会長会議　総　務　担　当 … 65

会員の動き

郡市医師会別承認済会員統計表、訃報、日誌　総　務　担　当 … 76

医師会誌投稿規定　広　報　担　当 … 84

保険診療についてのQ＆A　医療保険担当 … 93

お気軽に会誌へのご感想・ご意見をお寄せ下さい　広　報　担　当 … 105

編集後記　会誌編集委員会委員　西　　秀　夫 … 108

石川啄木
―天才の構造と極限の集中、その短歌革新の核心―

春日部市医師会　木村　理（わたる）

1．はじめに――啄木との出会いと、国際啄木学会という場

石川啄木ほど、読者の心の内部に直接手を差し入れるような詩人は珍しい。誰の人生にも潜む弱さ、諦念、焦燥、孤独――それらをあまりにも正確に言語化し、しかも高度な技巧に頼ることなく“そのまま”提示する。その剥き出しの言葉の前で、読者は抵抗できず、自分自身の心の一部を突き刺されたような衝撃を覚える。

私は少年期に啄木短歌の魅力にとらわれ、2011年、仙台で日本乳癌学会が開催された際、盛岡へ足を延ばし、啄木の生家と渋民小学校、そして北上川のほとりの句碑を訪れた。渋民小学校から坂を下ると、幅の狭い北上川が素早く、しかし確かな流れを持って進んでいた。川沿いの柳は揺れ、葉は垂れ、北上の水に触れそうである。その光景は、啄木が見たであろう明治の風景と大きな隔たりはない。そこに立つと、まるで啄木の視線が自分を重ねるように感じられた。句碑には、あの有名な歌が刻まれていた。

やはらかに　柳あをめる北上の
岸辺目に見ゆ
泣けとごとくに

この歌の前半は、ただの叙景である。北上川の岸辺に若葉の柳が揺れ、川は淡く光を帯びる。けれど最後の七文字、「泣けとごとくに」が読者を情動の深淵に引きずり込む。この瞬間、風景は単なる風景ではなくなり、啄木の内奥が突如こちらに流れ込んでくる。私はその場でしばらく動けなかった。北上川のせせらぎ、柳の揺らぎ、近くの赤い吊り橋の影、そして啄木の短い人生。それらが一気に胸の底に落ちてきた。

国際啄木学会での体験も、その想いをより確かなものにした。2023年11月、久しぶりに東京で同学会が開催され、私は懇親会から参加した。会場は御茶ノ水駅、聖橋の近くのレストランで、約40名の会員が集い、台湾の教授たちやオーストリアの研究者もいた。まさに“国際啄木学”の名にふさわしい場である。

そこで台湾の女性教授と啄木について議論する機会を得た。私は英語で、自分が長年抱いてきた啄木論を語った。すなわち、啄木は明星的・ロマン派的な修飾を施した詩では評価されず、自らの才能と誇りが社会的成功と結びつかない苦悩のなかで、ついに“生の言葉で心をそのまま表す”という新しい歌の境地にたどり着いたのだということ。そしてその手法こそが、庶民の心をえぐり、圧倒的な共感を呼び、次々と人々の胸に刺さった理由であると。この議論は私にとって忘れ難い体験となった。自分の啄木観が国際的な文脈で共有されうることを実感し、啄木の偉大さと普遍性を改めて思い知った。

2．啄木の天才性とは何か――「極限に追い込まれて開く扉」

啄木の天才を語る際、“生まれながらの天分”だけを取り上げるのは不十分である。啄木の天才は、「追い詰められ、削られ、極限の状況でついに覚醒した精神の噴出」という性質を帯びている。

2－1．不遇と挫折の蓄積

啄木は盛岡中学を中退し、文学で身を立てよ

うとしたがうまくいかず、教師にも記者にもなったが安定しなかった。創作においても、初期のロマン派的作品は評価されず、啄木自身が最も自信を持って書いた小説でさえ芽が出なかった。挫折に次ぐ挫折。それでも啄木は表現することをやめなかった。しかし、この“表現への執着”こそが、後に爆発する短歌創作の礎となる。啄木は、言葉で自らの存在を確かめようとし、苦悩が深まるほど言葉への執念は強くなった。

2－2．天才は突然現れたわけではない

啄木の短歌を読むと、その透明な語彙と心情の直視に圧倒される。だが、これは天から降ってきたものではなく、啄木が長年の挫折と苦悩の果てに到達した“必然の技法”であった。

彼の短歌は、精神の瀬戸際でこそ書けた作品である。その証拠に、『一握の砂』の大部分は、生活困窮・病苦・死の迫る極限状態で書かれた。愛する家族を養えず、友人からの借金に追われ、使命感はあれど身体は弱っていく。その絶望の最中に、啄木は“自分の言葉”をようやく手にしたのである。

3．啄木の集中力――忘我の創作

啄木の創作について語るうえで、湯川秀樹の言葉は極めて示唆に富む。ここに改変せず掲げる。

「やはり相当無理に、つまり普通以上に頭脳を酷使するといいますか、なにか無理をすることが必要なんじゃないかと思いますね。ふつうの程度の集中では平凡なものしかあらわれてこない。それを突ききって、ふつうの意味での限界以上に努力を集中・持続しなければならぬ。啄木の『一握の砂』というものは、ある種の忘我状態で、徹夜して朦朧たる状況でワッと書き続けた歌の中から本体が姿をあらわしかけていた。」（湯川秀樹「天才の世界」（愛蔵版）小学館）

湯川秀樹は、ニュートンやアインシュタインなど、世界的天才たちの“極限の集中”を語り、その例として啄木を挙げている。この比較は驚くべきものだが、実際に啄木の創作過程は科学的天才の集中と同構造だった。

3－1．忘我と朦朧の中で言葉は流れ出す

啄木は徹夜で短歌を書き続け、疲労で意識が曖昧になり、自己の感情と言葉の境界が曖昧になる瞬間に創作の核心があらわれた。その状態は、通常の理性や計算を超えた“無意識の領域”にある。短歌が言葉として湧き出るのではなく、“生命の底から勝手に立ち上がるように言葉が現れた”というべきである。

3－2．限界を超えた者だけが到達する場所

湯川秀樹が述べるように、天才とは他の人間とは隔絶した種族ではなく、“条件が整い、限界まで集中したときに到達しうる境地”を経験した者である。啄木は極限の圧力により、その境地へ押し出された。まさに、「追い詰められた天才」であったと言える。

4．啄木短歌の特徴――「最後の七文字」で世界が反転する

啄木短歌の最大の特徴は、結句（最後の7文字）で一気に情感が爆発するという独自の構造である。

4－1．叙景から情念への劇的転換

冒頭で述べたように、泣けとごとくには、叙景を一瞬にして心理の結晶へと変える。これは技巧の産物ではなく、啄木の心の奥底に沈殿していた感情が、短歌という形式を通して“最後

の一滴として落ちる”ことで初めて完成する。

4－2．平易な語彙の“異常な精度”

啄木の語彙は驚くほど平易である。

「はたらけど」

「ぢっと手を見る」

「ふるさとの山」

「ありがたきかな」

誰もが理解できる語彙で構成されながら、その背後には複雑な心理が重層的に存在する。これは平易な言葉を正確に扱う高い能力、すなわち“言葉の純度”を極限まで高めた天才の仕事である。

4－3．情景と言葉の“間”が読者を揺さぶる

啄木は心理を直接言わない。しかし読者には強烈に伝わる。この“間”こそが、近代短歌において革新的であった。

5．北上川の句碑が示すもの――啄木の視線の再現

私が北上川の句碑を訪れたとき、啄木が立つべき場所に自分が立っているような錯覚をおぼえた。川の幅は狭く、柳は低く垂れ、足元には石が転がり、川の水量は多く、しぶきをあげながら力強く激しく流れていた。啄木がこの川を思い出しながら、何を思ったのか。故郷への愛情と、戻れない人生への悔恨、そして自分を支えた自然への感謝だったのか。北上川は、啄木の心の揺らぎをそのまま映し出す鏡のようであった。この原風景を知らずに啄木を語ることはできない。

6．国際啄木学会での対話が教えてくれた啄木の普遍性

国際啄木学会に集う研究者たちは、啄木を単なる日本の一詩人として扱わない。彼の作品は、

・社会的弱者の心情

・近代化の影で押し潰される個人

・労働と貧困と希望の葛藤

といった普遍的テーマを孕むため、アジアでも欧州でも容易に共感される。

台湾の教授との議論で、私は啄木論を国際的な視点で再確認した。啄木は文化を超えて読まれる“世界文学の可能性”を秘めている。

国際啄木学会が開催されるたびに、参加者は国籍を超えて啄木の短歌を語り合い、感情を共有する。その光景は啄木の短歌が持つ普遍的力を如実に示していた。

7．結語――啄木はなぜ現代の私たちを揺さぶり続けるのか

啄木が遺した短歌は、どれも驚くほど簡潔で短い。だが、その短さの中に込められた感情の密度は異常である。

啄木は人生の大部分で不遇を味わい、社会的成功から遠ざかり、身体は弱り、死が訪れた。しかし、その極限に追い込まれたとき、彼の内部に長年蓄積されたエネルギーが一気に噴出し、短歌となった。

湯川秀樹が語るように、“限界を超えた集中状態で、初めて天才の仕事は姿をあらわす”のである。啄木の短歌は、その瞬間の証拠である。だからこそ、読者の胸をえぐり、逃れられない余韻を残す。 そして100年以上経った今も、世界の読者を魅了し続ける。

啄木は、単なる悲劇の詩人ではない。 極限を生き抜き、最後の瞬間に“生の言葉”を掴み取った人間の証言者 である。

編　集　後　記

埼玉県医師会誌令和８年３月号をお届けします。

今回、報告Ⅰとして現在医師会立の看護学校を運営されている北和会の３会長からの投稿をいただきました。

それぞれの医師会が運営されてきた看護学校の歴史、その地域医療に対する役割、誇りを語られております。さらに熊谷市医師会 小林敏宏会長からは埼玉県立高等看護学院の移転に伴う埼玉県保健医療部との意見交換の経緯、医師会看護専門学校の閉校を決定する経過、苦悩等を詳細にご報告いただきました。秩父郡市医師会 井上靖会長は郡市医師会の定時総会、臨時総会で検討され、地域医療構想調整会議でも使用された参考資料を提示なされ、今後も地域の行政とともに前に進んでいきたいとの思いを語られています。本庄市児玉郡医師会 鈴木和喜会長は、県立高等看護学院の移転が医師会立看護学校に及ぼす具体的な影響、入学金や授業料など看護学生に掛かる負担の比較、看護学校そのものの経営状態、学校を運営するのに必要となる経費、また多くの皆様にはあまり馴染みのないかもしれませんが看護学校を閉校した時に生じる国庫補助金の返還、あるいは公益目的財産償却の問題など医師会の運営、継続にもかかわるような重要なお話をいただきました。

秩父地域では令和11年３月をもって医師会立看護学校は閉校となります。ここ数年医師会立看護専門学校以外の新卒業生が、地域内の２次救急病院に就職していないということもあり、医師会立看護学校が閉校するということは、地域において新規看護師入職が望めなくなり、看護師不足がさらに悪化、救急医療を始めとした地域医療の崩壊につながるのではないかと危惧しております。

さて、２月４日秩父市浦山のダムサイト、南東の急峻な斜面で山林火災が発生いたしました。埼玉県内の多くの消防隊が消火活動を行い、埼玉県防災航空隊、東京消防庁装備部航空隊、横浜市消防局消防航空隊、山梨県防災航空隊、陸上自衛隊などのヘリコプターによる散水による大規模な消火活動も行われました。延焼の場までは自院より直線距離で6.5km程あり、当初は武甲山の西側奥に白煙が見える程度で、比較的呑気にみておりましたが、６日午後から煙の量が増え、稜線に炎が見えるようになると、急に言い知れぬ火事に対する緊張感、不安感が生まれました。その後、７日夕方からの降雪が鎮火に向けて良いほうに働いているのではないかと考えております。

看護学校問題も山火事も何かをきっかけに、急にその恐ろしさに気が付くかもしれません。会員の皆様、秩父は遠いとお感じでしょうか？まあ、確かに遠いのですが、遠いとではなく、埼玉は広いとお考えいただければ幸いです。

（西）

● 編集委員 ●

水谷　元雄　松山 眞記子　森野　一英
石井　暁　佐野　仁彦　加藤　雄一
森　庸祐　吉田 好志郎　岩﨑　智彦
西　秀夫　田原　泰久

【表紙写真説明】

早咲きの河津桜とヒヨドリ

河津桜は静岡県河津町で発見された早咲きの桜です。

ヒヨドリは桜の花の蜜が大好物で、花の少ない時期の貴重な食料となります。

深谷寄居医師会　五十嵐　勇人

■DATA■ NIKON COOLPIX P1000 234mm
f/5.6 1/160秒 ISO 400 EXP 0.3

Vol. 912
MARCH, 2026　定価500円

発　行：令和８年３月10日
発行人：一般社団法人 埼玉県医師会
会　長　金井　忠男
編集人：一般社団法人 埼玉県医師会
常任理事　松山眞記子
発行所：一般社団法人 埼玉県医師会
〒330-0062
さいたま市浦和区仲町３丁目５番１号
電　話　048-824-2611（代表）
印刷所：誠美堂印刷株式会社
〒338-0007
さいたま市中央区円阿弥6-3-3
電　話　048-855-5321